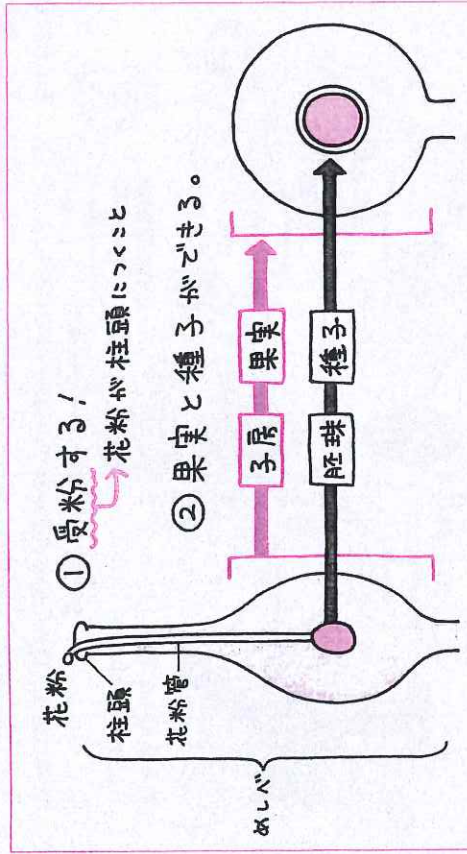


31 種子は何からできる？

花をさかせて種子をつくり、子孫を残していく植物を、**種子植物**といます。前回学習した花のめしべとおしべは、種子をつくるためにあります。

めしべの先の柱頭に、おしべの花粉がつくことを**受粉**といます。受粉は、果実や種子ができるきっかけになります。

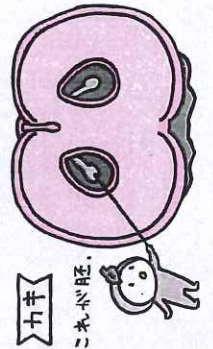
受粉のあと、花粉からめしべのものほうにある**胚珠**へ向かって**花粉管**という管が伸びていき、これが胚珠にとどくと、やがて**子房**は**果実**となり、**胚珠**は**種子**に成長していきます。



胚珠は、植物の種類によって、子房の中に1つだけあるものや、多数あるものがあります。子房の中にたくさんの胚珠がある植物は、1つの果実の中にたくさんの種子ができるのです。

種子の中ってどうなってるの？

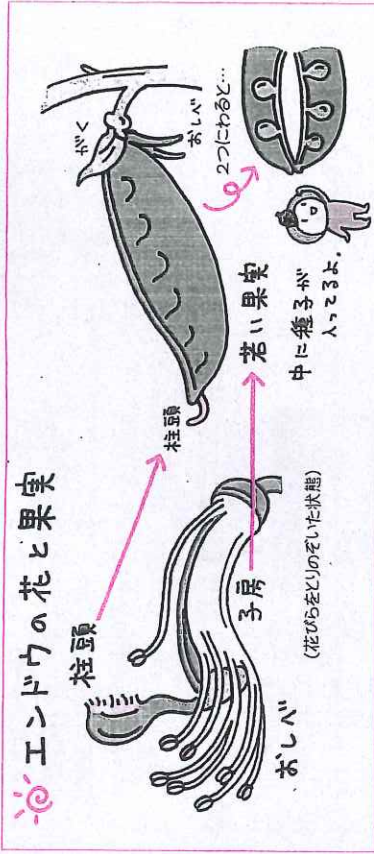
種子の中には、次の芽や根になるものがあります。この部分を「**胚**」といいます。植物の赤ちゃんです。種子には、新しい芽が出るための養分も入っているのです。発芽するのに養分や肥料をあげる必要はないのです。



大事☆用語

受粉, 胚珠, 子房, 種子植物

果実は、めしべの子房からつくられるので、果実の形はめしべに似ています。下の図はエンドウです。受粉が終わると、花びらはかれて落ち、子房がふくらんで、子房とよく似た形の果実ができています。



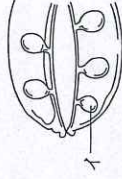
基本練習

→ 各問題別冊8ページ

① にあてはまることをば答えましょう。
花粉がめしべの柱頭につくことを、① という。① をきっかけにして、めしべの② がふくらみ、やがて果実になる。そして、② の中にある③ は、種子になる。
花をさかせて種子をつくり、子孫を残す植物を、④ という。

② 次のエンドウについて答えましょう。

アの中のようす



(1) アは、花の何という部分が変化したのですか。

()

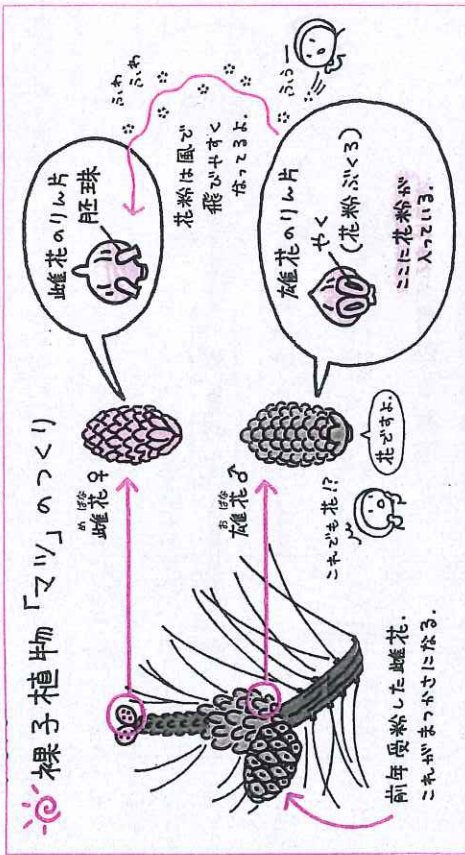
(2) イの粒は、何ですか。

()

実ができません植物

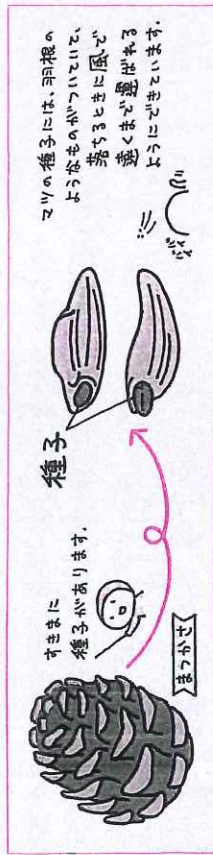
これまで見てきた植物は、受粉すると胚珠が種子になり、種子のまわりに果実ができます。ところが、植物には、種子はできるけれど果実ができないものもあります。

果実は、めしべの子房が成長してできるものですね。ですから、「果実ができない」ということは、最初から「子房をもっていない」ということです。子房がないので、胚珠はむき出しの状態になっています。このような植物を、**裸子植物**といいます。



マツの花は雄花と雌花に分かれています。花は、中心にめしべがあって、そのまわりにおしべがついていることを学習しましたね(→p.69)。マツの花も同じように、雌花が中心になっていて、この雌花を取り巻くように雄花がついています。雄花のやかくから出た花粉は、風で運ばれて、直接雌花の胚珠につき、受粉します。

受粉が終わると、胚珠は長い時間かかって種子になります。胚珠のまわりに子房がないので果実はできません。



裸子植物のなかまはすべて「木」です。**マツ、スギ、イチヨウ、ソテツ**などがあります。

イチョウの胚珠はイチョウの種子は秋の味覚「ぎんなん」だよ。

このように、種子植物は、子房があるものとならないものに分けられます。胚珠が子房に包まれている植物は、裸子植物に対して、**被子植物**といえます。

被子植物
(胚珠が子房に包まれている→**果実ができる**)

裸子植物
(胚珠が子房に包まれていない→**果実ができない**)

種子植物

基本練習

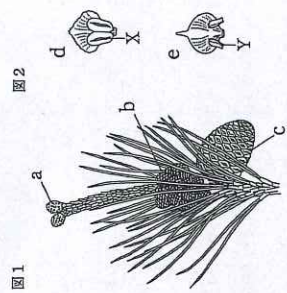
〔 〕は適するものを選び、□にはあてはまることを答えましょう。

① 種子植物には、マツのような①□植物と、アブラナのような②□植物がある。

② マツを表した右の図で、雌花は図1の③〔 a , b 〕で、雄花のりん片は図2の④〔 d , e 〕、胚珠は図2の⑤〔 X , Y 〕である。

③ 次のア～エの植物のうち、□の①の植物のなかまはどれですか。()

ア. エンドウ イ. スギ
ウ. タンポポ エ. ツツジ



大事な用語

裸子植物、被子植物